

第3回 鞍骨公園ワークショップ新聞

□3月11日(日)村岡公民館にて

1.3グループ別検討案の作成

1.第2回鞍骨公園ワークショップ新聞をもとに前回内容の確認

2.第2回鞍骨公園ワークショップの中での宿題

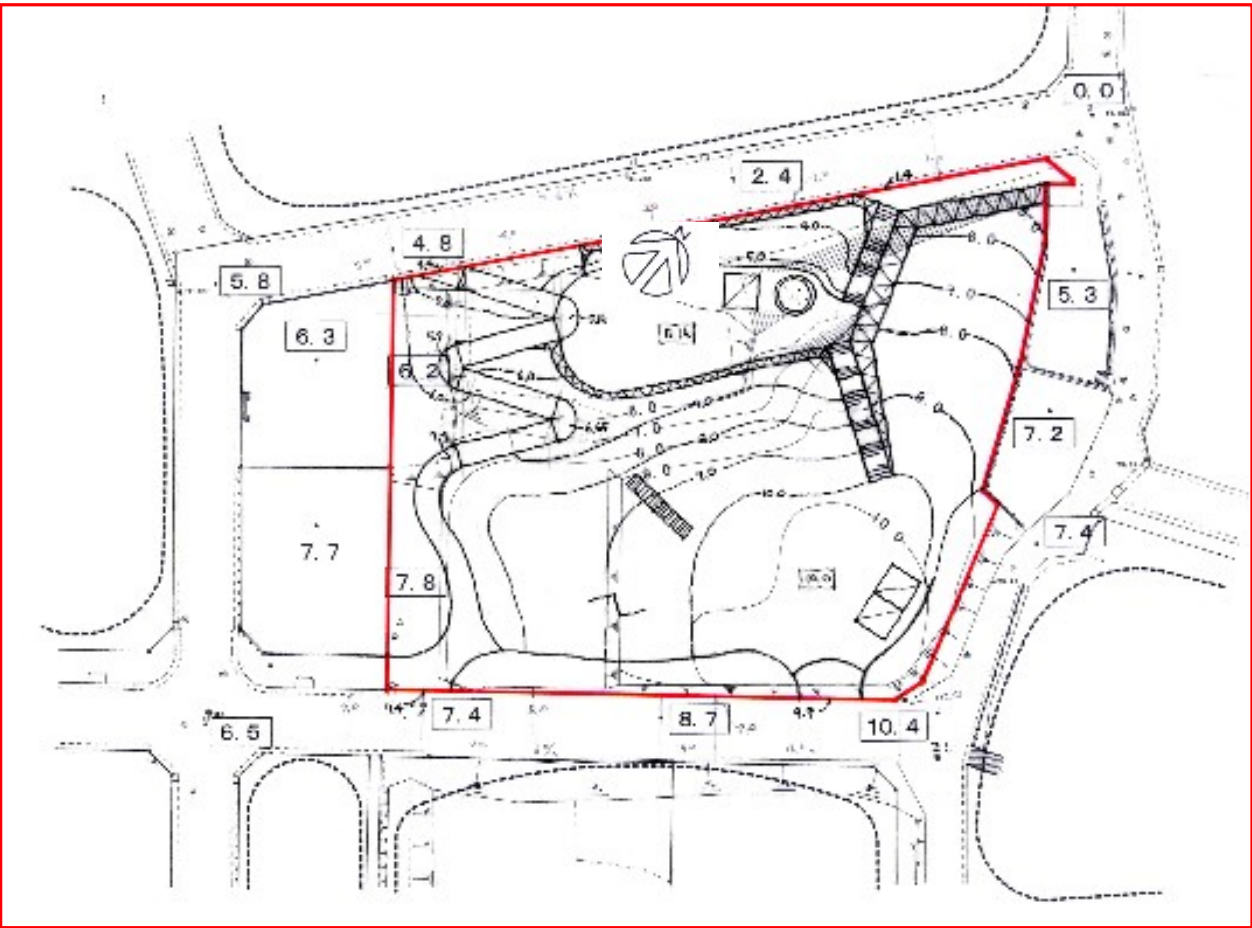
1) 計画案の提示

- ・前回のワークショップで検討していただいたゾーニング・計画案を参考にして、赤・青・黄のグループ別の検討案を作成しました。

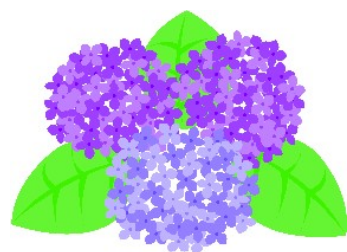
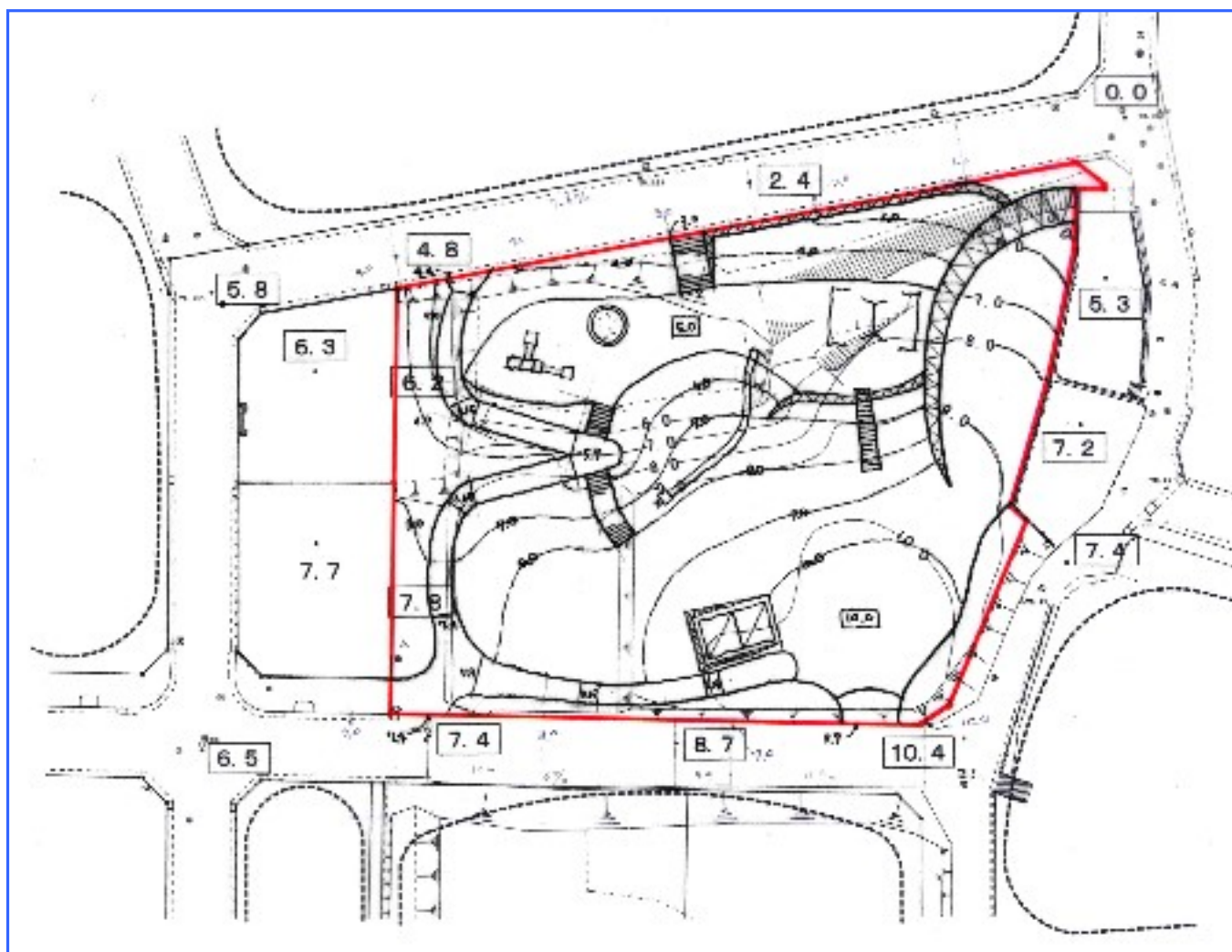
<グループ別検討案>

内容	赤	青	黄	備考
造成	平場となる場所を計画高H=10.0、5.5の2箇所を設置し、上段の切土を抑えるために上段の空間を大きく設定します。	平場となる場所を計画高H=10.0、5.0の2箇所を設置し、あそびゾーンを充実させるために下段の空間を大きく設定します。	平場となる場所を計画高H=10.0、8.0、4.4の3箇所を設置し、既存の地形を変えないように上段、中段、下段の3箇所に平場を設定します。	
スロープ	上段の切土を抑えるために、奥行きが最も短くなるように設定します。	やわらかい形になるように、上段から下段全体でスロープを吸収するように設定します。	それぞれの空間で平場が確保できるようにウォールと組み合わせた形で設定します。	
空間設定	休憩、遊びゾーンをゆったりと設定します。	休憩、遊びゾーンをパランスよく設定します。	休憩、遊びゾーンをコンパクトに設定します。	
擁壁	下段に設定。下段の平場を確保します。	下段に設定。下段の平場を確保します。	上段、下段、スロープ沿いに設定。3箇所のまとまった平場を確保します。	
主な施設	アスレチック遊具(丸太ネット、橋)、砂場、パーゴラ(1、2連)	アスレチック遊具(丸太ネット)、コンビネーション遊具(幼児用)、2連ブランコ、ローラー滑り台、砂場、パーゴラ(2連)	アスレチック遊具(丸太ネット)、コンビネーション遊具(幼児用)、4連ブランコ、砂場、四阿	
概算設計金額	¥34,600,000	¥41,100,000	¥39,200,000	

赤グループ



青グループ



黄グループ

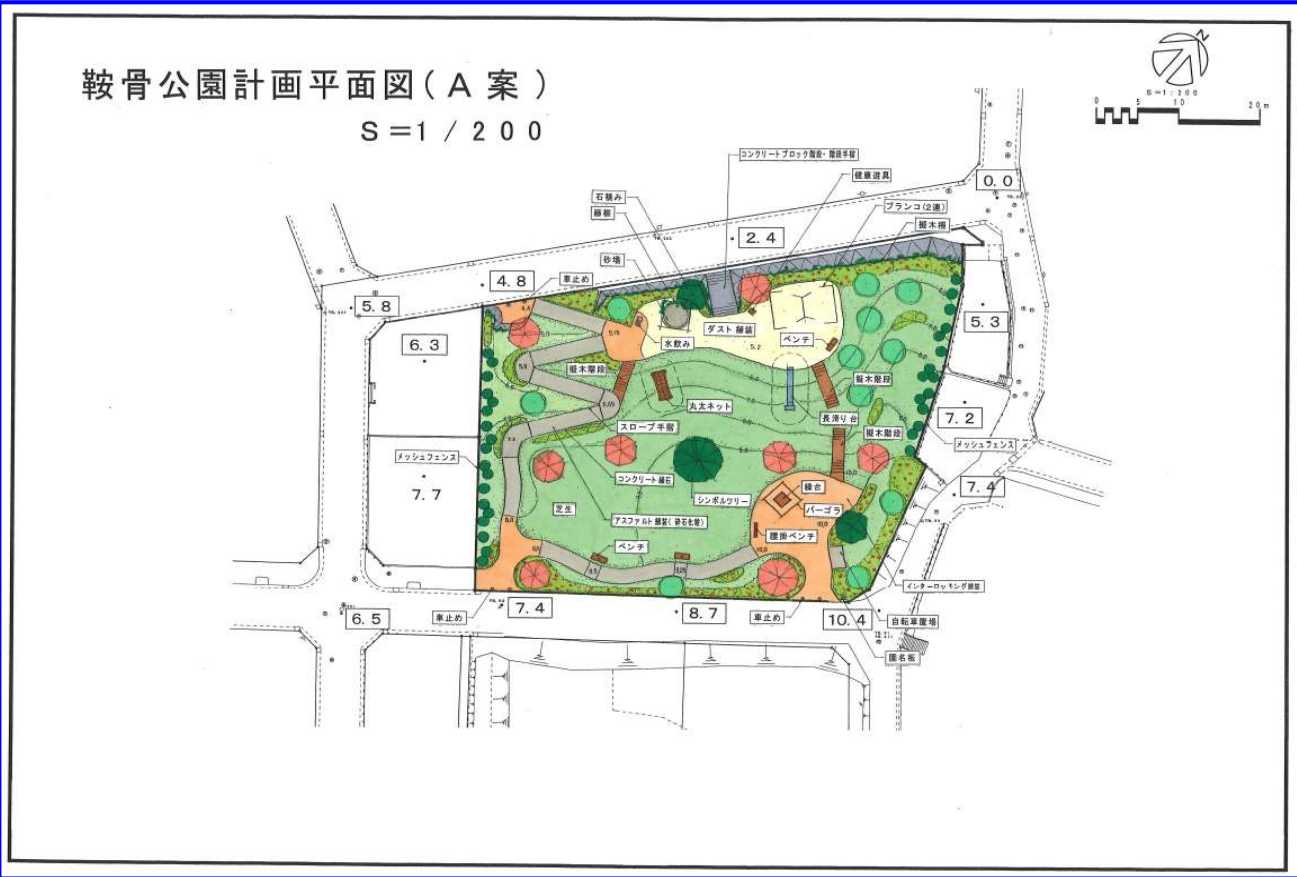


2.最終案の提示

・グループ別の計画案を検討した結果、基本的に今回の予算内で行うことが難しいことがわかりました。そこで、共通項がみられる赤と青のグループと黄グループの検討案をベースに、プランの見直しを行いました。

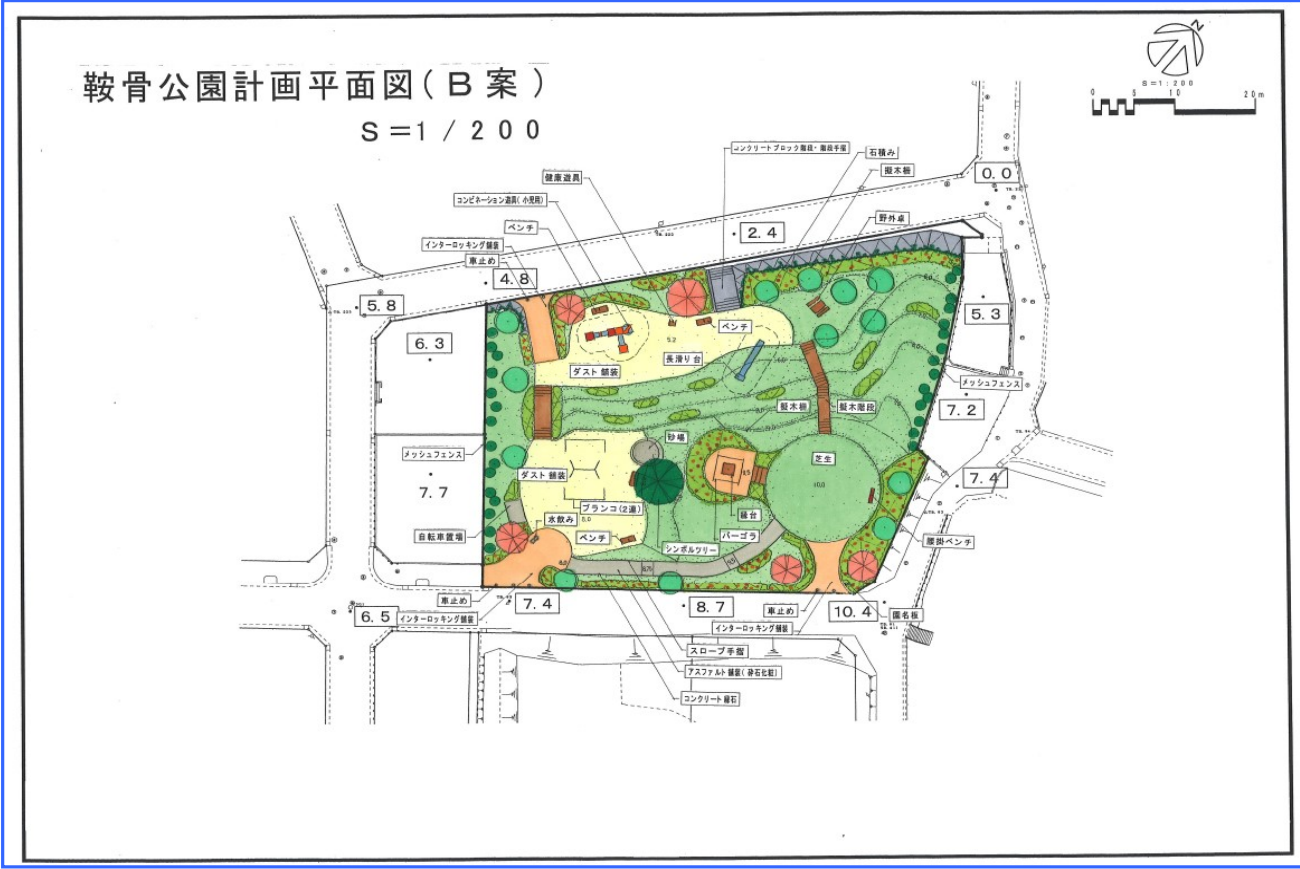
A案の検討

空間設定と施設内容	赤グループ	青グループ	計画案(A)	変更点	検討内容
入口・動線	4箇所に設置 北側、南側の隅に2箇所ずつ 園内動線はスロープと階段	4箇所に設置 北側中央、北西側、南側の隅に2箇所ずつ 園内動線はスロープと階段 各ゾーンを結ぶ通路	4箇所に設置 北側中央、北西側、南側の隅に2箇所ずつ 園内動線はスロープと階段 各ゾーンを結ぶ通路	ほぼ同じ	崖部分の対策として道路側沿いに擁壁を設置することが区画整理事業との調整で可能となったこと及び高低差の大きい北東側より中央に入口を設置した方が経済的になります。
(導入施設)	園名板		園名板		
遊びゾーン	中間の斜面部分	中間の斜面部分から下段広場	中間の斜面部分から下段広場	ほぼ同じ	青グループの施設を全て組み込むことは予算的に不可能であるため、概ね要望を満足させることのできると考えられるものとして選択しました。
(導入施設)	丸太ネット、丸太橋、フレイスカルフチャ、ベンチ	ローラー滑り台、丸太ネット、フランク、スプリング遊具、フレイスカルフチャ、鉄棒、草すべり、ベンチ	長滑り台、丸太ネット、フランク、草すべり、ベンチ	ローラー滑り台、丸太橋、スプリング遊具、フレイスカルフチャ、鉄棒を取り止め	
遊びゾーン(幼児用)	北側の下段	北西側の下段	北西側の下段	ほぼ同じ	コンビネーション遊具は下段の広場の大きさ及び予算の問題から取り止めとしました。
(導入施設)	砂場、ハーゴラ、水飲み	コンビネーション遊具、砂場、ベンチ、水飲み	砂場、ベンチ、水飲み	コンビネーション遊具を取り止め	
休憩ゾーン	南東側の高台	南側の高台	南東側の高台	ほぼ同じ	予算的にハーゴラを1連に変更したことにあわせて、両グループで要望のあった縁台を残し野外卓を取り止めとしました。
(導入施設)	ハーゴラ、縁台	ハーゴラ、縁台、野外卓、ベンチ、高齢者がちよと腰をのせるベンチ	ハーゴラ、縁台、ベンチ、高齢者がちよと腰をのせるベンチ	野外卓を取り止め	
修景ゾーン		公園の入口・道路との境界の斜面を花物で積極的に修景	公園の入口・道路との境界の斜面を花物で積極的に修景	同じ	
安心・安全	見通しを確保	見通しを確保	見通しを確保	同じ	
植栽ゾーン	西側、東側にハッファーゾーン 北側、南側に植栽ゾーン	西側、東側にハッファーゾーン 北側、南側に植栽ゾーン	西側、東側にハッファーゾーン 北側、南側に植栽ゾーン	同じ	
その他	西側にスロープ 北東側に自転車置場	西側にスロープ 歩道の延長 作業車の入口	西側にスロープ 歩道の延長 作業車の入口	ほぼ同じ	スロープは奥行きが最も短くなるようにして上段の切土(=残土)を抑えるようにしました。南側には歩道の延長となるスロープを設置して、下段から上段まで車椅子あるいはベビーカーでの移動ができるようにしました。



B案の検討

空間設定と施設内容	黄グループ	計画案(B)	変更点	検討内容
入口・動線	4箇所に設置 北側、南側の隅に2箇所ずつ 北東側はスロープ 南西側入口は歩道を延長した形 園内動線はスロープと階段	4箇所に設置 北側、南側の隅に2箇所ずつ 北側中央部分に階段 南西側入口は歩道を延長した形 園内動線はスロープと階段	北東側のスロープを中央の階段に及び園内のスロープを階段に変更	北東側からスロープは勾配が20%近くになり非常に危険なため中央の階段変更しました。園内のスロープ(黄案)はコストがかかること及び各ゾーン空間を確保することを優先して階段に変更しました。
(導入施設)	歩道風入口広場	歩道風入口広場		
遊びゾーン	中間の斜面部分から下段広場	中間の斜面部分から下段広場	斜面部分を除いた下段広場	擁壁はコストがかかり同時に造園空間では固い空間になりがちなため、既存の斜面を活かした形で上段と下段に平坦な広場空間を確保することを検討しました。結果として、斜面は遊びの空間としての利用には無理があるため修景の場に変更しました。但し、部分的に長滑り台を設置することで斜面遊びの要素を取り込むようにしました。
(導入施設)	滑り台+クライミング、丸太ネット、コンビネーション遊具、ベンチ	滑り台、コンビネーション遊具、ベンチ	クライミング、丸太ネットを取り止め	
遊びゾーン(幼児用)	南西側の上段	南西側の上段	同じ	丸太橋は幼児の遊具としては適当ではないと考え取り止めとしました。代わりに水飲み、ベンチの必要と思われる施設を加えるようにしました。
(導入施設)	ブランコ、丸太橋、砂場	ブランコ、砂場、ベンチ、水飲み	丸太橋を取り止め	
広場ゾーン	南東側の上段	南東側の上段	同じ	水飲みは遊びゾーン(幼児用)に移動しました。
(導入施設)	ベンチ、水飲み	ベンチ、高齢者がちよと腰をのせるベンチ	水飲みを取り止め	
休憩ゾーン	全体が見渡せる中心の高台	全体が見渡せる中心の高台	同じ	予算的にパーゴラ、縁台に変更しました。
(導入施設)	四阿、野外卓	パーゴラ、縁台	四阿、野外卓を取り止めてパーゴラ、縁台に変更しました。	
植栽・修景ゾーン	西側、東側にバッファゾーン 北側、南側に植栽ゾーン 斜面の上に花木を中心とした見晴らしのよい場所を修景(休憩)ゾーンを下段の斜面の下に設定	西側、東側にバッファゾーン 北側、南側に植栽ゾーン 花木を中心とした修景(休憩)ゾーンを下段の斜面の下に設定	修景(休憩)ゾーンを下段の斜面の下に変更	花木を中心とした修景(休憩)ゾーンとしては斜面の途中は非常に狭いので下段にまとまった空間が確保できるので位置を変更しました。
安心・安全	見通し、見渡しの確保	見通し、見渡しの確保	同じ	
その他	西側にスロープ 南西側に自転車置場	西側に階段 南西側に自転車置場	(園内のスロープを階段に変更)	



鞍骨公園鳥瞰図 (B案)



3.最終案の確認

2. 参加者による討議の結果

- 1) 福祉のまちづくりが望まれる時代的背景からスロープを持ったプランが良いと考えられる。
 - 2) 公園全体が区分されないで遊び、広場が連続的である。
 - 3) 斜面の活用が全体的に可能であり、制限されていない。
 - 4) 住宅近くに遊具が無く、周辺への配慮がある。
- 等の意見よりA案を基本案として選択し、今後工事に向けて細微の検討を行います。

2..確認及び検討内容

- ・ プランコの音（ギコギコ）は大丈夫ですか。
- ・ 可能な範囲で、上段・下段共に広場（平らな場所）を確保して下さい。
- ・ 害虫の発生しない、消毒の少ない樹木を植栽して下さい。
- ・ 草すべりを考慮した斜面部分の遊具配置を再度検討して下さい。
- ・ プランコは場所をとるので鉄棒、タイヤステップなどの遊具を再度検討して下さい。
- ・ 境界部分は隣接地より公園が高くないようにして下さい。
- ・ 周辺のみどりが減少している現在、樹木を植えて下さい。

3..公園の名称、シンボルツリーについて

- ・ 候補を提示しますので、後ほどアンケート方式で決めたいと思います。



4.維持管理、公園愛護会について

1.公園愛護会について

- ・ 「地域の公園は、地域の手で守る」をモットーに地域の皆さんで公園愛護会を設立し、市と一体となって公園の維持管理を行っています。
- ・ 公園愛護会は、公園のまわりの自治会・老人会・婦人会・子供会・商店会などの呼びかけにより、〇〇公園愛護会といったグループを作っています。
- ・ 公園内の清掃、除草、施設の破損を発見した時の連絡などをお願いしています。その他に散水や花壇づくりなども行われています。
- ・ 活動に必要な運営費の一部として、報奨金を交付しています。
- ・ 管理用の用具入れとして、公園内の倉庫を設置します。

2..その他

- ・ 公園内で起きている事柄・問題点などについての連絡は、全て村岡公民館で受け付けるようにします。村岡公民館を最初の窓口とし、必要な部署への割り振りを行います。

5.スケジュール

1. スケジュール

- ・ 第3回ワークショップで検討された内容を踏まえて計画案の見直しを行い、最終計画案としたいと思います。
- ・ 最終計画案は後日提示させていただき、ご意見を伺う機会を設けるようにします。

2.. その他

- ・ 公園整備スケジュールは、平成19年度工事で行います。平成19年11月頃に工事着工し、平成20年3月末日工事終了を予定しています。

※これまでワークショップに参加してくださった皆さん、そして公園に関する要望を上げていただいた皆さん、ご協力誠にありがとうございました。
公園が出来上がるまで今しばらく時間がかかりますが、未永く皆さんに可愛がってもらえるよう担当職員も頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。

〈連絡先〉 藤沢市役所 公園みどり課（担当：横手）
TEL 0466-25-1111（内線4121）
FAX 0466-50-8421